

総合リハビリテーション学科 第18回 理学療法セミナーの開催

広島国際大学（学長：秋山實利）では、大学における教育・研究成果を地域に役立つ情報を広く一般に提供することを目的とした公開講座「咲楽塾」を開催しています。

膝関節の異常なねじれの改善を意図した運動療法を確立

国内の変形性膝関節症（膝OA）患者は約800万人と推定され、歩行機能低下の最大の原因とされています。これに対して、講演者の一人である、蒲田和芳（本学 保健医療学部 総合リハビリテーション学科 准教授）の研究室では主に膝関節のねじれ（回旋キネマティクス）の改善を意図した運動療法を考案し、その効果検証を行ってきました。これまでの研究において、1回の治療による即時効果、1か月間の介入の短期効果、3か月間の介入が骨髄浮腫に及ぼす効果などの検証を行ってきました。その結果、「膝のねじれ改善を目的とした運動療法は膝OAの症状、運動機能、アライメントを改善させる」という検証結果がまとまりました。本講演では、これらの研究成果を踏まえて、今後の膝OAの予防や治療法の普及に向けた取り組みについてもお話しします。

定員の180名は、医療関係者、リハビリテーションを学んでいる学生、一般の方の申込で既に、満席となりました。当日は、膝OAに対する運動療法について考え、意見交換をする場としたいと思いますので、ぜひ、取材いただければ幸いです。

1. 日 時：2012年6月24日（日）10：00～15：00
2. 場 所：広島国際大学広島キャンパス 300 教室（広島市中区鞆町 1-5）
3. テーマ：変形性膝関節症の疼痛・機能・アライメントに即時効果を得る運動療法
4. 講演者：花田謙司 氏（黒崎整形外科病院・理学療法士）
生田 太 氏（東広島整形外科クリニック・理学療法士）
星 賢治 氏（寛田クリニック・理学療法士）
蒲田和芳（本学 保健医療学部 総合リハビリテーション学科 准教授）

■内容に関するお問い合わせ先

広島国際大学 保健医療学部事務室 TEL：0823-70-4541

■取材の申し込み先・本件発信部署

広島国際大学 企画課（末政） TEL：0823-70-4922